

生徒指導だより

令和6年
12月18日(水)



相手を思いやる言動について考えました

<鹿西っ子の気になる姿>

- ・自分にとって面白くないことがあると「カス」や「死ね」などの人を傷つける言葉を使う人がいること
- ・中指を立てたり、相手の気持ちを害するようなジェスチャーをしたりする人がいること

上記のような言動に心を痛めている子がいます。そこで、12月11日(木)の1限目に全校集会で、相手を思いやる言動について考えました。その後、クラスでも、これまでの言動を振り返り、みんなが楽しく過ごせるようにするにはどうしたらよいかを考えました。

学校では、「相手のことを大切に思って欲しいこと」「相手を傷つけるような言動に気を付けていくこと」を指導しました。引き続き指導していきたいと思います。

ご家庭でも、お子さんと言葉遣いについて話し合ってみてください。



<児童の思い> 感想の一部を抜粋

6年児童

- ・当たり前かもしれないけど、当たり前を少しずつ身に付けて友達とうまくやっていけるようになりたい。

眉丈児童

- ・先にされたら(言っても)いいと思ってしまっていた。
- ・学校ではしないけど、家ではしてしまう。

5年

- ・相手の事を考えて自分の思いを伝えたい。
- ・自分はどのようにして欲しいのか詳しく伝えるようにしたい。

おにぎり児童

- ・楽しいことやリラックスできることを、みんなで考えるといい。
- ・ケンカになりそうになったらいったんやめる。

4年児童

- ・友達の気持ちを考えて、仲よくしたい。
- ・友達に注意してあげると、より良くなると思う。

3年児童

- ・みんながいい言葉遣いになったら、いい鹿西小学校になるし、もっと学校が楽しいと感じる人が多くなると思う。

2年児童

- ・ふわふわ言葉を使いたい。
- ・みんなと仲よく遊びたい。
- ・言われてうれしいことを言おうと思う。

1年児童

- ・ふわふわ言葉を使う。
- ・ほめる言葉かけをする。
- ・困っている人がいたら優しく声をかける。

相手のことを大切にすることは、相手を尊重することです。たくさんの児童から、友達のことを考えた行動や言葉かけをしたいという思いが感じられました。